



吹田市立山田第三小学校

# 学校だより 夏休み号

令和5年(2023年)7月20日発行

TEL 06-6877-5701 FAX 06-6877-5708

URL: <http://www.suita.ed.jp/gak/es/22-yamada3/>



## 思い出深い夏休みを

本日、終業式を終え明日から35日間の夏休みに入ります。

4月に児童は進級し、各学年の学習や集団生活も1学年レベルアップした中で活動を進めてきました。当初は新しい友達や担任に戸惑い、期待や不安で、気持ちが安定していなかった児童も日々の教育活動の中で次第に慣れ、6月の山三フェスタの頃には、児童は当該学年としての自信をもつようになり、友達と助け合ったり、協力したりしながら、自分らしく学校生活が送れるようになってきました。また、友達同士のトラブルも耳にするようになりました。一般的に大人は友達同士でもめないようにと考えがちですが、児童にとってはとても大切な学びと成長の機会です。

経験値の少ない児童は、人間関係を知識で学ぶことはできません。心の理解は知識とは違うからです。問題の原因や経緯、そして心の変化を振り返り、反省や謝罪をすることで、相手を思いやる心の成長と共に、経験値が知識として積み重なり、再発防止につながります。

子ども同士の数年に渡る関係もあり、保護者にとって「うちの子もされたのに。」と誤りを受け止める事が難しい場合もあるかと思えます。しかし、一つ一つの場面を切り分けて考えなくてははいけません。

その場面の誤りをかばってしまうと、児童の反省がぼやけ、責任を転嫁してしまい、一番大切な児童の心の成長の機会を失うことになってしまいます。一番大切なのは「あかんことはアカン」です。

保護者が児童と共に誤りや失敗に正対し反省することが、児童の心の最大の成長につながるのです。

多くの大人がそうであったように、児童は同じ失敗を何度も繰り返します。そして、その失敗に保護者も正対し、共に考えることで、我が子との関係も成熟していきます。

児童も大人も、誤った時には素直に反省し、謝罪し、当事者同士が不寛容になりすぎず、許し合い共に成長できる社会であってほしいと思います。

学校では「いじめ」や問題行動はいつ、どこにでも起こりえるものとして捉え、あらゆる教育場面を人権教育の機会と捉え、教育活動を進めて参ります。保護者の皆さまにもご理解・ご協力をお願いいたします。

楽しみにしていた夏休みですが、毎年、子どもを巻き込んだ事故や事件が後を絶ちません。ご家庭や屋外でのルール、iPadのルール等、安心安全に対するご家庭での指導をよろしくお願い致します。

長期間の休暇に家族の思い出となる出来事を一つでも多く重ねていただけたらと願っています。どうぞご家庭で安全で楽しい夏休みをお過ごしください。

学校長

## あゆみについて



本日、「あゆみ」を持ち帰っています。  
本校のあゆみは、学習の様子を分かりやすく評価するために、「進んで取り組む」や「わかる力」、「考える力」等に項目を分け、単元や領域ごとに整理をしています。  
ご家庭でお子さまと一緒にあゆみをご覧ください、得意なところ、伸びたところを褒めたり励ましたりすることで成長につなげてください。

## 夏休み作品展のお知らせとお願い

**保護者参観日時** 8月28日(月)・29日(火)  
15:30~17:00

参観の際、保護者の皆さまは来校証とスリッパをご持参ください。シートの上には乗らないようにお願いします。また、小さなお子様をお連れの場合は目を離さないようにしてください。

## 《運動会》児童用簡易テント設置ボランティア

児童の安全確保・熱中症予防の為、PTA及び50周年行事委員会から児童用の簡易テントを寄贈いただきました。運動会で児童席用に設置予定ですが、たくさんのテントがあるため、前日準備の9月29日(金)に、保護者の皆様のお力をお借りして設置したいと考えています。2学期にPTAより依頼があります。ご協力をお願いします。

## 地域行事のご案内

### ◎夏休みラジオ体操(山三地区 体育振興会主催)

[日時] 7月23日(日)~8月6日(日) 朝6時30分

[場所] 山三小 運動場

**\*熱中症予防に水筒をもたせてください。**



### ◎山三夏まつり(山三夏まつり実行委員会主催)

[日時] 8月19日(土) 17時から

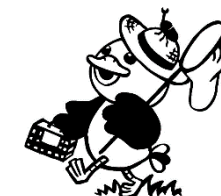
[場所] 山三小 運動場

\*雨天時は8月20日(日)に順延

\*保護者の皆さまもお子さまと一緒にご参加ください。

## 8月の行事

- 25日(金) 始業式 引き渡し訓練
- 28日(月) 補填授業 給食開始 夏休み作品展 SSW  
2測定(5、6年)
- 29日(火) 夏休み作品展 AET  
2測定(3、4年)
- 30日(水) 夏休み作品展  
2測定(1、2年)



## 9月の行事

- 4日(月) 委員会活動⑤ SSW
- 5日(火) 学力保障の日 AET
- 6日(水) 太陽の広場
- 10日(火) 短縮5時間授業 ※13時30分下校
- 11日(月) 児童集会 クラブ活動 SSW
- 13日(水) AET 太陽の広場
- 15日(金) 林間学習説明会 6h
- 19日(火) 短縮6時間授業 学力保障の日  
運動会の児童係打合せ
- 20日(水) AET 太陽の広場
- 25日(月) 補填授業 SSW 教育相談
- 26日(火) 短縮6時間授業 AET  
運動会の児童係打合せ
- 27日(水) AET 太陽の広場
- 29日(金) 短縮5時間授業(1~5年)  
運動会前日準備
- 30日(土) 運動会

10月1日(日) 予備日  
10月2日(月) 代休  
10月4日(水) 第2予備日

## 卒業式について

本校では、学習指導要領が示すねらいに基づき、厳粛で清新な式となるよう運営をめざしております。今年度も児童にとって「最後の学習の場」として節目となり、新しい門出を祝う佳き式となりますことを願っております。袴等和装の着用について毎年若干の問い合わせがありますが、上記趣旨やねらいを十分にご理解いただき、ご協力を賜りたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

## 学校徴収金(教材費)について

学校徴収金(教材費)の1学期の決算報告書は、新たに導入されたシステムでの支出額の確認を終えた後、2学期に配布します。

# 人権教育月間

6月は、学年ごとに人権教育に取り組む「人権教育月間」でした。

今年も吹田市が主催している「じんけん作品展」に参加するとともに、各学年でビデオを鑑賞して、「人権」について考える時間を持ちました。各学年の取り組みなどを紹介します。



## 1年生

1年生は「とべないホタル」というお話を見ました。子どもたちの感想を紹介します。

羽がちぢんで生まれたために、飛ぶことのできないホタルを周りの仲間が見守り、支える場面では、

- 飛べなくてかわいそうだけど、みんな助けてあげていてやさしかった。
- つかまえられるとき、飛べないホタルの子を守っていて、とてもかっこいいなと思った。
- 友だちを助けるってすごく大事だと思った。
- 歩けない妹のためにホタルをとってきたけど、逃がしてあげてよかった。

と、考えることができました。

9月には人権作品として、ポスターを描く予定です。

## 3年生

小学生の携帯電話の所有率が年々増加し、携帯メールでのコミュニケーションやインターネットの利用など便利になった反面、ネットでのトラブルも増加しています。そこで、「小学生のためのケータイ・ネット教室」～こんなトラブルに気をつけて～の動画を見て学び、子どもたちは、使い方を気を付けることや、相手のことを考えてこれからも安全に使っていききたいということを振り返っていました。

人権月間では、日常生活を送る中で、大切なこととは何かということを一一人ひとりが考えて、標語を作りました。

\*子どもたちの考えた標語\*

「温かい 自由な時間を 大切に」

「はだの色がちがったって 人間の心は同じ」

## 5年生

「人権ってなに？」というところから話を始めました。人権は幸せに生きていくための権利で、人権が脅かされることとして、戦争や犯罪、いじめや差別などが挙がりました。その後、「ありったけの勇氣」のビデオを見ました。

「ありったけの勇氣」では、友だちとの関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝えてくれました。

○子どもたちが考えた標語です○

- 「いじめは、あかん 助けなあかん」
- 「あなたなら きっと動ける おそれるな」
- 「そのゆうき かいけつへの 第一歩」
- 「相手には 一生消えない その言葉」
- 「見ないふり それでいいのか 自分なら」

「いじめを止めよう 勇氣をだして」

## 2年生

2年生は「むしむし村の仲間たち」というお話を見ました。この話は見た目や、できることがちがう虫のキャラクターが、それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、自分なんてダメなんだと悩んだりしながら、お互いの気持ちを考え、ちがいを認めていくお話です。

○子どもたちが考えた感想です。

- はじめは、カマジローがゲンジをいじめていたけど、さいごはやさしくほめていたから、すごいな～と思った。
- さいごにみんなの気持ちが、わかりあえたのがいいなと思った。
- カマジローとゲンジが最終的に仲良くなれてよかった。ゲンジみたいにいる人を助けてあげられるようにする。

9月には人権作品として、ポスターを描く予定です。

## 4年生

4年生は「自分の大切さ、他の人の大切さを認める」ことを日常生活の中で意識し、友達と関わるときの態度や行動にも表れるように、日ごろから子どもたちと話し合い、指導し、見守っています。今回、「いじめ」を身近な問題として取り上げ、「プレゼント」のビデオを鑑賞しました。子どもたちの感想では、

- いじめられているのを見ているだけでいじめにつながる。
- いじめではなくみんなで心をつなごうと思った。
- まりは一人のあやかに声をかけていて優しいと思った。
- 友達は大変なことが分かった。

などがありました。「いじめ」の原因については様々なことが考えられますが、どんなことがあっても自分の人権と他人の人権は大切であるということに気付き、絶対に「いじめ」は、やってはいけないと深く考えることができました。

## 6年生

「みんなで跳んだ」～実際にあったお話～

身体的な理由で、運動会の大縄がどうしても跳べない子を、どうやって参加してもらうか。クラスみんなの話し合いと葛藤を考えるDVDを観ました。子どもたちの感想には、

「やはり絆があったから跳べたんじゃないかと思いました。」

「僕は最初は矢部ちゃんが大縄を跳べなくて外していたのに、最後はやっぱり嫌でクラスで話し合っ、矢部ちゃんを入れることに決めたクラスをやさしいクラスだと思った。」

「日ごろから、人の気持ちをしっかり考えようと決心しました。」

一人ひとりが、人権について考えを持つことができました。また、自分にもできることを考える機会となりました。